

1 指定管理施設の概要

施設名	青葉山ろく公園(グリーンスポーツセンター、パターゴルフ場、多目的広場等)		
指定管理者	一般財団法人舞鶴市スポーツ協会		
設置目的	自然とのふれあいや憩いの場、レクリエーションの場を提供し、野外活動・体験活動を通じて青少年の健全育成に寄与し市民の余暇活動の充実を図る場とするため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
所管課	市民文化環境部人権啓発・地域づくり室地域づくり支援課、文化スポーツ室スポーツ振興課、建設部土木課		

2 利用状況等の推移

	令和元年度	年度	年度	年度	年度
利用者数(人)	11,620				
利用料金(円)	4,724,500				
指定管理料(円)	22,200,000				

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
グリーンスポーツセンター	7,400人	8,175人	7,605人	93%
パターゴルフ場	5,500人	6,582人	4,015人	61%
(自主事業)グリーンスポーツセンター	2回以上	2回	2回	100%
(自主事業)パターゴルフ場	7回以上	8回	9回	113%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	4,724,500	人件費	14,992,408
指定管理料	22,200,000	維持管理費	7,170,751
事業収入	593,000	事業費	2,238,917
その他	170,367	その他	1,356,494
合計	27,687,867	合計	25,758,570
差額			1,929,297

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	指定管理期間最初の年度で、試行錯誤しながらの運営であったが、培ったノウハウを活かし、公園全体を通じたイベントやサービス実施など総合的戦略により、各施設の周知や利用促進に努めたが、年間目標数値よりは下回った。しかし、直営時より大幅な利用者増と、イベント時の集客能力など一定成果を挙げており次年度へ期待したい。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	青少年の健全育成に寄与し、市民の余暇活動の充実資するため、幅広い年代層を取り込めるよう公園全体を利用したイベント等を行うなど、適切な運営を行った。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	野外活動を通じ、青少年の健全育成に寄与し、市民の余暇活動の充実資するため、幅広い年代層が参加できるイベント等を通じ適切な運営を行った。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	事業の効率的な運営のため、若干の途中変更はあったが、概ね計画どおり実施されている。ただ、コロナウイルス感染拡大防止のため、年度後半の事業は中止せざるを得なかった。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	高齢者や子ども、親子等幅広い年代層が参加できるイベント等を実施し、施設の周知等を行い、集客につなげる取組みが実施されている。次年度は更に工夫し集客に期待する。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	常に利用者目線に配慮したサービス向上策を実施、アイスクリーム販売では好評を得るなど満足度向上につなげた。

利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	アンケート箱を設置するなど、積極的に利用者の声を聞き取るよう工夫が見られた。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	アンケート箱の設置や利用者の苦情等聞き取りにより、ログハウスの害虫駆除、利用者のスムーズな入退場等、利用者の希望、要望等は速やかに聞き入れ対応している。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	マルチスタッフの育成による柔軟な人員配置、職員のコスト意識を向上させ、節電・節水に努め、常に施設内の経費削減を実施している。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	職員で可能な修繕は積極的に実施、地元住民と共同した環境美化等を積極的に実施した。
収入増加のための取組が行われたか	○	スポーツ協会の培ったノウハウを活かし、公園全体を通じたイベントやサービス等を研究し総合的な戦略により実施し、各施設の周知や利用促進に努め、ある程度収入増につながっている。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	△	年度途中における、責任者の人員変更など、運営体制の不安定が生じた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	接待研修、マルチスタッフ育成など職員の能力向上に取り組んでいる。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われていた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に行われていた。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	パトロールにより巡回点検、遊具の定期点検、早めの修繕を随時実施し、危険個所の排除をするとともに、危機管理チェックリスト、緊急連絡体制確保を実施することにより対応している。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に行われていた。
(5) その他コメント		
サービス向上		指定管理最初の年度であったが、培ってきたノウハウを活かし、幅広い年代層が楽しく参加しやすいイベント等の実施、アンケート箱を設置するなど利用者のニーズを把握しながら事業計画を変更するなど、満足度向上につながる運営に努力している。目標設定数値には及ばなかったが、施設周知等の努力が見られ次年度へ期待したい。ただ、年度後半は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止せざるを得なかったことは残念であった。
経費削減		職員の経費節減意識を向上させ、常日頃から節電・節水に努め、修繕などは、職員で可能なことは職員で実施し、また、環境美化は地元住民と協働実施するなど主体的な経費削減対策を実施している。また、マルチスタッフを育成し効率的な人員配置と職員の能力向上にもつなげている。
施設の維持・管理		パトロールによる安全確認、定期的な遊具点検、早目の修繕対策など、利用者への安全を図りながら、利用促進につなげている。

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	4点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	<p>利用人数が20パーセント超増加していることを評価する。</p> <p>高齢者から子供まで楽しめる施設となっており、今後も利用を増やしてほしい。</p> <p>舞鶴市民はもとより市外の人にも興味を持ってきてもらえるようPRに努めてほしい。</p> <p>利益が出るようであれば給与面の改善を図られたい。</p> <p>スズメバチへのしっかりとした対応をお願いする。</p>	

《参考》 過年度の評価点

年度	年度	年度	年度	平均